

地理歴史科（日本史 B）学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 3 単位
- 2 実施日時 令和 3 年
- 3 学級
- 4 使用教科書 『詳説 日本史 B 改訂版』（山川出版社）
- 5 単元名 鎌倉幕府の成立
- 6 単元設定の理由

〈生徒観〉

対象生徒は 2 年の日本史選択者である。日本史に関する興味・関心は、高い生徒から低い生徒までさまざまであるが、1 学期に実施したアンケートでは 4 月当初と比べて日本史への興味・関心を持つようになったという生徒も多数いた。歴史的事象に関して考える能力も高く、自分の考えを表現することにも積極的である。この能力をさらに伸ばすために、歴史を複数の視点から見る力を身につける必要があると考えている。特に時代の画期や転換点について多面的・多角的に考察する訓練を今のところまだ積ませられていない。そのため、鎌倉幕府成立年について複数の視点から考えさせることで、物事を多面的・多角的に捉える力を養いたいと考えている。

〈教材観〉

本単元では、鎌倉幕府の成立と機構、執権政治の確立や武士の生活と土地支配について考察する。学習指導要領では「幕府の成立や公武関係の変化について扱い、古代とも近世とも異なる中世的な国家や社会のあり方について考察させる」と示されている。

鎌倉幕府の成立によって、本格的に武士の時代が到来する。幕府成立の過程で誕生した封建制度や武士の地方支配は、この後の時代にも大きな影響を与えている。

この単元では、まず鎌倉幕府の成立過程について多面的・多角的に考察させ、複数の視点から歴史を見る力を生徒に身につけさせることができると考えている。また、執権政治の確立や武士の生活と地方支配について考察させることで、その原因や結果、影響について意識させるとともに、鎌倉時代の社会の特徴や課題について考察し、自分の考えを表現する力を養いたいと考えている。

〈指導観〉

鎌倉幕府成立年に関する説を紹介する前に、まずは自分たちでこの出来事が重要だろうというものを抜き出させることで、時代の転換点について意識させる。その後、6 つの説を紹介し、自分の考えと一番合致するものを選ばせ、自分の意見を記述させることで、より深く時代の転換点について考えさせる。そして、グループで意見交換させることで、時代の画期は 1 つではなく複数あるため、多面的・多角的な視点が必要であることを気づかせる。

7 単元の目標

鎌倉幕府の成立や機構、執権政治の確立や武士の生活と土地制度について考察することで、時代の転換点を意識し、歴史を多面的・多角的に捉えることができる。

単元の基軸となる問い

鎌倉時代にはどのような社会が形成されたか？

8 単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・技能
・鎌倉幕府の成立や機構、執権政治の確立や武士の生活と土地制度について意欲的に探究している。	・鎌倉幕府の成立や執権政治の確立、武士の生活と土地制度について、その原因や結果を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現できている。	・鎌倉幕府の成立や機構、執権政治の確立や武士の生活と土地制度に関する資史料から情報を読み取ったり、読み取った情報をワークシートにまとめたりしている。	・鎌倉幕府の成立や機構、執権政治の確立や武士の生活と土地制度についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

9. 指導計画 単元名 鎌倉幕府の成立と武士の社会 全6時間

第1次 源平の争乱と鎌倉幕府の成立

第1時 源平の争乱【知識・理解】

第2時 鎌倉幕府の成立（本時）【思考・判断・表現】

第2次 鎌倉幕府の機構【知識・理解】

第3次 執権政治

第1時 北条氏の台頭と承久の乱【関心・意欲・態度】

第2時 執権政治【思考・判断・表現】

第4次 武士の生活と土地支配【資料活用の技能】

単元の指導計画

次 程	学習活動	関	思	技	知	評価規準等
第1次 2時間扱い	鎌倉時代にはどのような社会が形成されたか？					
	○治承・寿永の内乱について、内乱の原因や過程、結果を理解する。				●	◎内乱の原因や過程、結果について理解している。（ワークシート）（授業プリント）
	○治承・寿永の内乱を、鎌倉幕府の成立と結びつけて考察する。		●			◎治承・寿永の内乱について、頼朝の支配権の確立と結びつけながら考察している。（ワークシート）
	○鎌倉幕府の成立年について、資料や他者の意見を参考にしつつ、自分の考えを表現する。		●			◎鎌倉幕府の成立年について、資料や他者の意見を参考に、自分の考えを表現している。（ワークシート）

第二次 1時間扱い	源頼朝はどのように御家人を支配したか？				
	○鎌倉幕府の機構について、中央の組織や守護・地頭の職掌について理解する。 ○頼朝の御家人支配や朝廷との関わりについて理解する。			● ◎幕府の中央の機構や地方支配の構造などについて理解している。(ワークシート) ● ◎御恩と奉公(封建制度)のしくみや内容、朝廷との関わりや経済基盤などについて理解している。(ワークシート)	
第三次 2時間扱い	なぜ執権政治が確立したか？				
	○鎌倉幕府で北条氏が台頭した要因を考察する。	●		◎北条氏台頭の要因について意欲的に考察しようとしている。(ワークシート)(行動観察)	
	○承久の乱後の執権政治の展開について、そのときの執権が置かれた状況や諸資料から考察する。		●	◎執権政治が確立した要因について、時の執権の置かれた状況や諸資料などから考察している。(ワークシート)	
第四次 1時間扱い	武士の生活や土地支配について理解しよう。				
	○武士の生活について諸資料から読み取り、考察する。		●	武士の生活について、諸資料を活用して考察している。(ワークシート)	
	○武士が行った土地支配について、実際の事例や諸資料から読み取り、考察する。		●	武士が行った土地支配について、実際の事例や諸資料から読み取り、考察している。(ワークシート)	

1 0 本時の指導目標

- ・鎌倉幕府の成立年について、時代の画期となる出来事を多面的・多角的に考察し、自分の考えを表現する。

1 1 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入 5分	・鎌倉幕府の成立年について、2つの教科書の記述を比較する。	・鎌倉幕府の成立年に関する記述が2つの教科書で異なっていることを読み取らせる。		
	MQ. 鎌倉幕府の成立年はいつが妥当か？			

展開 40分	SQ. 鎌倉幕府はどのように成立したか？			
	・ 治承・寿永の内乱を、頼朝の支配権の確立や鎌倉幕府の成立と結びつけて考察する。【タブレット端末使用】	・ 幕府成立の過程を見て、画期と考えられる出来事をペアで抜き出させる。その後、その画期性について簡単に説明する。	・ 治承・寿永の内乱を、頼朝の支配権の確立や鎌倉幕府の成立と結びつけて考察している。【思】	・ ワークシート
	SQ. 鎌倉幕府の成立年を考察しよう！			
	・ 6つの説の中から自分が一番画期だと思うものを選び、その理由を記述する。 ・ グループで意見を交換し、合意形成を図りグループとしての結論を出す。【タブレット端末使用】	・ 6つの説について、補助的な資料を用意する。 ・ 他の人の意見を聞き、自分の考えを再考するよう促す。最終的にグループで一つの意見に絞らせる。	・ 鎌倉幕府の成立年について自分の意見を、資料をもとにして表現できる。【思】 ・ グループの中で自分の意見を、根拠をもって説明している。【思】	・ 行動観察・ワークシート ・ 行動観察
まとめ 5分	・ 本時のまとめを記入し、感想を書く。	・ 鎌倉幕府の成立年がいつかということが重要ではなく、歴史を見る時には多面的・多角的な視点が大切であることを伝える。		

評価及び指導の例

【思考・判断・表現】

「十分満足できる」と判断される状況	鎌倉幕府の成立年について、複数の資料を比較・検討するとともに、他者の意見も参考にしながら、自分の意見を表現している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て	タブレット端末やグループワークを活用し、他者の意見に触れる機会をつくるとともに、誰にでもわかりやすい資料作りをすることで、自分の意見をもてるよう支援する。